

## 今日のトピック 観光地としての存在感が高まるベトナム ベトナムが19の観光賞を受賞、外国人訪問者数は顕著な回復傾向

### ポイント1 ベトナムが19部門の「ワールド・トラベル・アワード」を受賞

- ベトナム国家観光局は12月7日、「ワールド・トラベル・アワード2023」において、ベトナム観光が19部門で世界有数のアワードを受賞したことを公表しました。
- 「ワールド・トラベル・アワード」は1993年に創設され、旅行・観光・ホスピタリティー分野の優れたサービスを主要部門別に表彰する、世界の旅行・観光業界で最も栄誉あるプログラムとして知られています。
- この中で、ベトナムは「ワールド・リーディング（WL）・ヘリテージ・デスティネーション（ベトナム）」や「WL・リーディング・シティ・ブレイク・デスティネーション（ハノイ）」など多くのアワードを受賞しました。
- ベトナムは8つの世界遺産があるほか、リゾート開発も進んでおり、観光地としての存在感が高まっています。

【WL・ヘリテージ・デスティネーション】  
世界遺産などの魅力を備えた旅行先：ベトナム



【WL・シティ・ブレイク・デスティネーション】  
都市滞在型休暇に優れた旅行先：ハノイ



【WL・ネイチャー・アイランド・デスティネーション】  
自然豊かな島として魅力ある旅行先：フーコック島



【WL・リージョナル・ネイチャー・デスティネーション】  
地域の自然が魅力にあふれた旅行先：モクチャウ

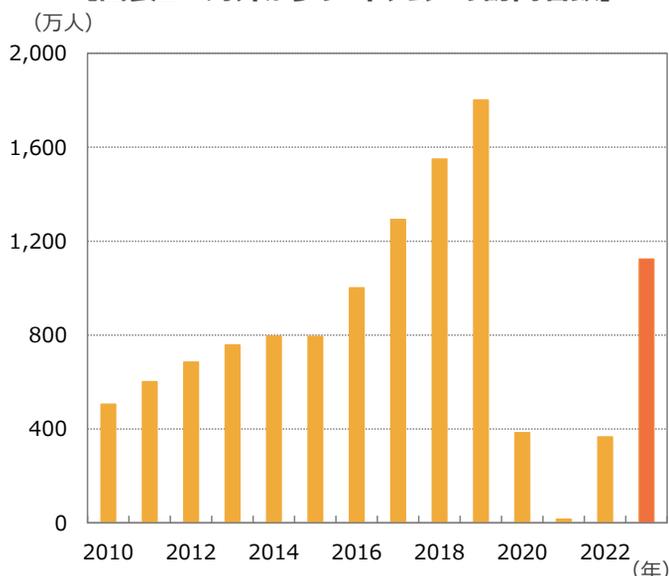


※ 写真はイメージです。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

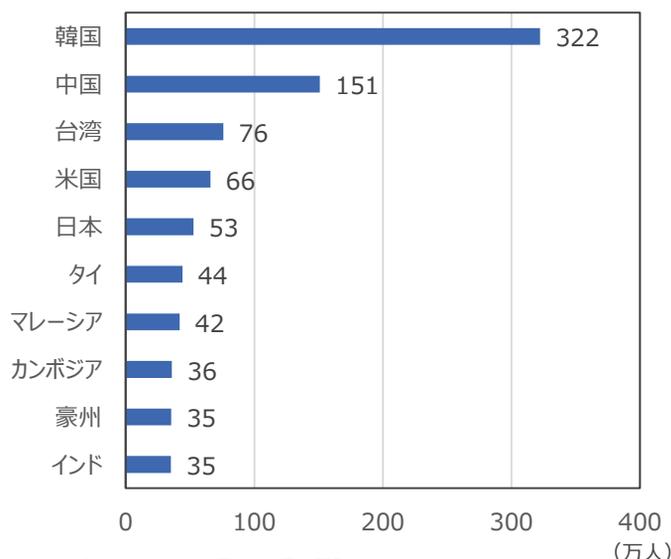
**ポイント2 ベトナムの外国人訪問者数は顕著な回復傾向**

- ベトナム国家観光局の発表によると、11月の外国人訪問者数は前月比+10.9%の123万人で、前年同月比では2.1倍となりました。2023年の1～11月の外国人訪問者数は1,123万人となり、前年同期比では3.8倍に急増しました。
- 2023年1～11月の外国人訪問者数を国・地域別にみると、1位韓国322万人、2位中国151万人、3位台湾76万人、4位米国66万人、5位日本53万人となっており、韓国が全体の約3割を占めています。
- コロナ禍の収束に伴う入国制限の緩和を受け、ベトナムへの出張者や観光客の訪問者数が顕著に戻り始めています。GDPに占める観光産業のウエイトが大きいベトナムは（9%、2019年時点）、インバウンドの回復が経済成長を後押ししそうです。

**【図表1：海外からのベトナムへの訪問者数】**


(注) データは2010年～2023年。2023年は11月まで。

(出所) ベトナム国家観光局のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

**【図表2：国・地域別外国人訪問者数トップ10】  
(2023年1～11月)**


(注) データは2023年1月～11月の累計。

(出所) ベトナム国家観光局のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

**チーフリサーチストラテジスト  
石井康之 (いしい やすゆき)**
**ここも  
チェック!**
**2023年8月17日 米旅行関連株は好決算で絶好調**
**2023年7月14日 2023年前半は新興国株が先進国株に対し出遅れ**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。